

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年 2月 20日

事業所名 ニコット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になつている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になつている。また、子ども達の活動に合わせた空間となつている	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月のミーティング、必要に応じてミーティングを行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的を実施している。	保護者様の意見や要望に応えられるようスタッフ間でよく話し合い業務改善や支援に繋がります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		定期的に情報を更新している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修に参加している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様に確認しながら細かいアセスメントをして支援計画も同様に細かく説明して同意を得ています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用しています。事業所独自の資料も追加しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で話し合いながら計画しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月毎に変更して工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼等で確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		口頭や申し送りノート。メールなどで報告し情報を共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		関係者様とは連携が図れるように利用前にお話しや協力体制の依頼をしています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		利用前に受診同行などご家族に依頼し必要な医療行為や安全面の確認、緊急時の対処方法などを確認して協力体制の依頼をしています。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて機会を設けています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		対象となる利用者様がいる時は、関係者会議などに参加しています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて関係者会議など開催している。電話連絡などでも対応しています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		今後計画して行きたいと思います。	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	手話カフェや手話ダンスなど休みを利用して地域の方々と交流を図っています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の支援をご家族に報告してお子様の成長や相談に對したやりとりしている。	保護者様との交流を継続して図って行きたい。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	出来る範囲での対応をしています。	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		心掛けています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて可能なかぎり対応をしています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に保護者交流会を実施しています。	
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応していると思います。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に通信を発行しています。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		定期的に行事を行いボランティアスタッフとしてきて頂いております。	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回行っている。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		アセスメント記入時確認している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			今後事例集を作成していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に参加しております。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和2年 2月 20日

事業所名 ニコット

保護者等数（児童数） 18回収数16割合89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3		1	外で遊ぶスペースがあるといいと思ういつも楽しそうに色々活動しています。	天気の良い日は屋外活動も行っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特徴に応じ、事業所の整備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	14	1		1	視覚からの情報が入って助かっています。	今後も視覚の情報も取り入れながらわかりやすく伝えていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となつているか	15			1	いつも綺麗だと思います。	清潔を今後も心がけていきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画 ² が作成されているか	16				的確です。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16				的確です。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15		1		その子にあった支援をしてもらえる。	今後も各々の児に沿った支援を続けていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13		3		毎日色々なことが出来て楽しそうです。	今後も固定しないよう様々な活動を行っていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	4		8		
保護者 への 説明 等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				いつも説明してもらっています。	ご不明な点等ございましたら、その都度対応させていただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11	4		1		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14			2		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	1	6	色々開催してくれて楽しかったです。	コロナ時に配慮しながら今後も様々な活動を行っています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1		1	相談すると確認し対応してくれています。	ご相談があれば可能な限り対応していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16				連絡帳に沢山書いてくれるので楽しみです。	今後もお子様の事業所での様子を丁寧に伝えていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16					
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16					
非常時等の対応	⑳	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	1		4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3		5		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	16				いつも楽しみにしています。	今後も楽しめる様に色々工夫していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	16				沢山遊んでもらえて嬉しそうです。	

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。